

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
キャリアデザイン	1年次	4	白井 由美子	火曜日4限目
	通年			

## 概要

本授業は、自己理解・仕事理解・社会理解を段階的に深めながら、自身のキャリアを主体的に考え、行動につなげる力を養うことを目的とする。  
 【前期】自身の価値観や経験を整理し、働く意味や職業観について考察することで「自分なりのキャリア仮説」を構築する。  
 【後期】自己理解をもとに業界・企業理解を深めるとともに、エントリーシートや面接対策等の実践を通して、社会に向けた自己表現力を高める。  
 本授業はグループディスカッションや発表を中心としたPBL(課題解決型学習)により実施

## 到達目標

1. 自身の価値観・経験を整理し、言語化できる
2. 仕事や社会に対する理解を深め、自身のキャリアを主体的に考えられる
3. 他者との対話や発表を通じて、自身の考えを表現できる
4. 就職活動に必要な基礎的スキル(文章・面接・対話力)を身につける

## 受講要件

## 評価方法

出席率・・・30%  
 授業への参加態度(ディスカッション・発表等)・・・20%  
 提出課題(ワークシート、レポート等)・・・20%  
 前期・後期テスト・・・30%

## テキスト

パワーポイントによる説明とワークシートにて対応

## 参考書

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション／授業ガイダンス・キャリアデザインの概要	1	オリエンテーション／就職活動の全体像
2	「なりたい・ありたい自分」を考える／自己イメージの言語化(1分間スピーチ)	2	社会人マナー・就職活動の基礎
3	キャリアデザインと人生設計・働き方・社会の変化を理解する	3	自己理解:現在①(興味・関心の分析)
4	なぜ働くのか／価値観の探究	4	自己理解:現在②(自己軸の明確化)
5	自己理解:過去①(相互インタビュー・価値観の整理)	5	強みの言語化①(経験の棚卸し)
6	自己理解:過去②(ライフラインチャート/自分史)	6	強みの言語化②(エピソード整理)
7	仕事理解①(働き方・雇用形態の違い)	7	業界研究①
8	仕事理解②(社会人インタビュー共有)	8	業界研究②／企業理解
9	職業理解①(キャリアアンカー)	9	自己表現①(エントリーシート基礎)
10	職業理解②(業界・職種理解／外部講師講話)	10	自己表現②(ES作成)
11	キャリア仮説の構築①	11	自己表現③(グループディスカッション)
12	キャリア仮説の構築②(行動計画)	12	自己表現④(ES完成)
13	社会理解①(チーム研究)	13	履歴書作成
14	社会理解②(発表準備)	14	面接対策①(基本理解)
15	プレゼンテーション(全体発表)	15	面接対策②(実践)
16	インターンシップガイダンス	16	総合演習(GD・面接実践)
17	インターンシップ/申し込み・書類作成の仕方	17	後期テスト
18	振り返り／キャリア形成の整理	18	総括・1分間スピーチ最終発表
19	前期テスト	19	予備日(企業参画)
20	総括・1分間スピーチ前期まとめ	20	予備日(企業参画)

## 教員紹介

外資系企業にて役員・社長秘書、広報、マーケティング、人事教育トレーニングなど幅広い業務に従事し、多国籍・異業種の環境で実務経験を積む。これらの経験を背景に、国家資格キャリアコンサルタントおよびキャリアカウンセラー資格を取得。現在は大学・高校などの教育機関でキャリア講座の講師を務めるほか、学生や求職者へのキャリアカウンセリング、就職支援、企業研修に携わっている。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
基本情報技術者試験対策	1・2年生	4	大崎	月3
	通年			

## 概要

基本情報技術者試験のシラバスに合わせた内容について学習する。

## 到達目標

基本情報技術者試験の受験に必要な知識を習得する。

## 受講要件

なし

## 評価方法

平常点40%  
小テスト60%

## テキスト

平成08年かやのき先生の基本情報技術者

## 参考書

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション	1	6章 データ操作SQL、データベースの応用
2	1章 情報の表現、コンピュータの構成、CPU	2	7章 ネットワーク方式、通信プロトコル、接続機器
3	1章 CPUの動作原理、CPUの高速化技術、半導体メモリ	3	7章 IPアドレス、クラス、インターネット応用
4	1章 補助記憶装置、入出力装置、入出力インタフェース	4	8章 情報セキュリティ、脅威マルウェア、
5	2章 ソフトウェア、ジョブ管理とタスク管理、記憶管理	5	8章 サイバー攻撃、暗号技術
6	2章 ファイル管理、(マルチメディア)	6	8章 認証技術、利用者認証
7	3章 基数変換、(補数と固定小数点)、(浮動小数点)	7	9章 システム戦略、ソフトウェア開発、オブジェクト指向
8	3章 (誤差)、シフト演算、論理演算、	8	9章 業務モデリング、UI、(モジュール分割)、テスト手法
9	3章 (半/全加算器)、計測と制御、オートマトン	9	10章 プロジェクトマネジメント、スコープ、コスト
10	3章 AI、線形代数、確率・統計	10	10章 タイム、ITサービスマネジメント、システム監査
11	4章 アルゴリズム、配列	11	11章 ソリューションビジネス、経営戦略、マーケティング
12	4章 連結リスト、木構造	12	11章 ビジネスインダストリ、会計・財務
13	4章 データの探索、データの整列	13	11章 知的財産権、IT関連法規、労働関連法規
14	4章 (計算量)、プログラムの性質、言語	14	科目B対策
15	5章 システム構成、クラサバ、RAID	15	科目B対策
16	5章 信頼性設計、性能評価、信頼性評価	16	科目B対策
17	6章 データベース、データベース設計、正規化	17	科目B対策
18	6章 トランザクション処理、障害回復	18	科目B対策
19		19	
20		20	

## 教員紹介

担当教員は、IT企業にてエンジニアからマネジメントまでを経験し、企業内のエンジニア育成に従事した。その後、講師としてITリテラシーやプログラミングの教育、大学向けの情報処理教材の執筆をする。また、日本語教育の修士号を取得し、外国人IT人材のための日本語教育について研究する。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
実用韓国語会話	1・2年生	4	中川咲恵	火・2限目
	通年			

## 概要

日常生活および旅行、ビジネスなどの状況別における韓国語コミュニケーション能力の習得を目的とする。集中的な会話練習(積極的な発話・ロールプレイ・グループ活動)を通じて韓国語運用能力を高める。

## 到達目標

韓国語の文法・語彙を習得し、韓国語で自身の考えを表現できるようになる。状況に応じて適切な表現を使い分けながら基本的な会話ができるようになる。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(20%)、課題(20%)、期末試験(30%)

## テキスト

中川明夫・柳景沃(2019)『ベーシック韓国語:表現のルール&コミュニケーション力を身につけよう』現代図書

## 参考書

なし

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション	1	レッスン7(日常会話の基本文体)
2	ハングルの基礎構造	2	レッスン7(日常会話の応用文体)
3	さまざまな挨拶表現	3	レッスン7(丁寧表現の使い分け)
4	レッスン1(自己紹介・他己紹介)	4	レッスン8(複雑な活用形)
5	レッスン1(基本的な会話の仕方)	5	レッスン8(誘い・提案・承諾)
6	レッスン2(物の説明)	6	レッスン9(複合的な文章の作り方)
7	レッスン2(場所・方角の説明)	7	レッスン9(自身の意見を述べる)
8	レッスン3(存在詞)	8	レッスン10(過去の表現)
9	レッスン3(総復習と応用会話)	9	レッスン10(過去・経験の表現)
10	レッスン4(数詞①)	10	レッスン10(過去・経験の表現)
11	レッスン4(日にち)	11	レッスン11(義務の説明)
12	レッスン5(数詞②、個数の言い方)	12	レッスン11(理由の説明)
13	レッスン5(時刻や期間の言い方)	13	レッスン11(依頼のやり方)
14	レッスン6(基本的な丁寧表現)	14	総合演習③
15	レッスン6(基本的な否定文)	15	総合演習④
16	総合演習①	16	ディスカッション
17	総合演習②、発表準備	17	発表台本準備・練習
18	発表・フィードバック・前期振り返り	18	発表・フィードバック・総まとめ
19	予備日	19	予備日
20		20	

## 教員紹介

韓国・ソウル生まれの熊本育ち。日本人の父と韓国人の母をもち、日本語と韓国語のどちらもネイティブスピーカー。バイリンガルの視点から韓国語学習におけるポイントやつまづきやすい箇所をわかりやすく指導します。韓国語講師歴は9年目。現在、東京大学大学院博士後期課程にて在日コリアン青年のアイデンティティに関する研究活動に従事中。

## 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
TOPIK文法・語彙	1・2年生	4	中川咲恵	水・1限目
	通年			

### 概要

自身のレベルに合わせたTOPIK対策。TOPIKの出題形式に基づいた演習を行い、総合的なスコア向上を図る。

### 到達目標

TOPIKの出題形式に慣れ、問題を正確に解答できるようになる。文法・語彙力の強化。TOPIK II (3級～6級)の合格を目指す。

### 受講要件

なし

### 評価方法

授業態度(30%)、出席(30%)、模擬試験(20%)、小テスト(20%)

### テキスト

ソウル韓国語アカデミー(2022)『韓国語能力試験 TOPIK I 完全ガイド』IBCパブリッシング

### 参考書

多楽園韓国語研究所(2024)『韓国語能力試験TOPIK I 完全攻略模試』

### 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	TOPIKの出題形式について	1	重要文法・語彙の確認
2	重要文法・語彙の確認	2	レベル別対策
3	重要文法・語彙の確認	3	レベル別対策
4	リスニング対策	4	模擬試験③・解説
5	リスニング対策	5	模擬試験③・解説
6	リーディング対策	6	レベル別対策
7	リーディング対策	7	レベル別対策
8	作文対策	8	レベル別対策
9	作文対策	9	模擬試験④・解説
10	模擬試験①・解説	10	模擬試験④・解説
11	模擬試験①・解説	11	レベル別対策
12	重要文法・語彙の確認、復習	12	レベル別対策
13	レベル別対策	13	レベル別対策
14	レベル別対策	14	重要文法・語彙の確認
15	レベル別対策	15	レベル別対策
16	模擬試験②・解説	16	模擬試験⑤・解説
17	模擬試験②・解説	17	模擬試験⑤・解説
18	フィードバック	18	フィードバック
19	予備日	19	予備日
20		20	

### 教員紹介

韓国・ソウル生まれの熊本育ち。日本人の父と韓国人の母をもち、日本語と韓国語のどちらもネイティブスピーカー。バイリンガルの視点から韓国語学習におけるポイントやつまづきやすい箇所をわかりやすく指導します。韓国語講師歴は9年目。現在、東京大学大学院博士後期課程にて在日コリアン青年のアイデンティティに関する研究活動に従事中。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
ビジネスライティング・読解	1・2年生	4	中川咲恵	火曜・3限目
	通年			

## 概要

韓国語による実務的な文章作成能力(Eメール・報告書など)の習得を目的とする。基本的な文体や敬語表現、タイピングを学び、実際のビジネス場面を想定した課題を通じて実践力を養う。

## 到達目標

韓国語のビジネス文書を読解・作成できるようになる。韓国語のタイピングができるようになる。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(30%)、課題(20%)、期末試験(20%)

## テキスト

山崎玲美奈・河承賢(2016)『手紙・メールの韓国語』三修社

## 参考書

貝森時子・洪淳珠(2013)『今すぐ書ける韓国語レター・Eメール表現集』語研

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	キーボードの構造・タイピング練習	1	前期復習
2	メールの基本構造、文体・語彙	2	電話対応における表現(受付・引継・クレーム)
3	ショートメッセージでのやりとり(挨拶・伝達・相談)	3	電話内容の要約
4	ショートメッセージでのやりとり(近況報告・提案・依頼)	4	ビジネス文書の概要
5	メールでのやりとり(挨拶・近況報告)	5	基本的な報告書の書き方
6	メールでのやりとり(伝達・相談・招待)	6	背景・理由説明報告書
7	メールでのやりとり(依頼・承認・確認)	7	時系列構成報告書
8	実践演習①	8	意見書の作成
9	ビジネスメールの概要	9	情報の簡潔な要約書
10	挨拶文の書き方	10	トラブル報告書
11	取引先への問い合わせ	11	メール・報告書の添削
12	丁寧な返信	12	メール・報告書の翻訳
13	お礼・謝罪	13	実際の企業文書の分析
14	注文・支払い	14	ビジネス企画書作成
15	日程調整の依頼・承諾	15	総合演習(メール作成・電話対応)
16	取引・交渉	16	総合演習(報告書作成)
17	実践演習②	17	期末試験
18	期末試験	18	フィードバック
19	予備日	19	予備日
20		20	

## 教員紹介

韓国・ソウル生まれの熊本育ち。日本人の父と韓国人の母をもち、日本語と韓国語のどちらもネイティブスピーカー。バイリンガルの視点から韓国語学習におけるポイントやつまづきやすい箇所をわかりやすく指導します。韓国語講師歴は9年目。現在、東京大学大学院博士後期課程にて在日コリアン青年のアイデンティティに関する研究活動に従事中。

## 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
K-カルチャー理解	1・2年生	4	中川咲恵	水・2限目
	通年			

### 概要

韓国の現代政治、社会、歴史、大衆文化(K-POP、ドラマ)、SNS上の流行を題材に、言語理解と社会文化理解を統合的に学習する。日本と韓国を比較分析しうる視角を身につける。

### 到達目標

韓国の社会文化を深く理解し、その特徴や自身の意見を説明できるようになる。

### 受講要件

なし

### 評価方法

授業態度(30%)、出席(30%)、課題・小テスト(20%)、期末試験(20%)

### テキスト

パワーポイントによる説明、PPT資料の配布

### 参考書

中川明夫(2023)『脱「韓国傍観論」入門』現代図書

### 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	Kカルチャーとは何か	1	さまざまな方言、地域間の関係性
2	Kカルチャーにおける感情表現	2	韓流の歴史と変遷
3	アイドル文化と「ウリ」意識	3	日韓関係(歴史・社会・文化)
4	韓国ドラマと人間関係	4	アイデンティティ問題
5	恋愛観の日韓比較	5	文化のグローバル化とナショナリズム(政治)
6	家族観の日韓比較	6	経済とKカルチャー
7	食文化の違い	7	メディアとイメージ
8	韓国社会におけるストレス	8	発表資料/台本作成準備
9	学校文化・若者文化	9	発表・フィードバック
10	言語文化、非言語文化	10	日韓文化の共通性と差異
11	美意識・外見文化	11	K-pop総分析
12	韓国のバラエティ文化	12	Kドラマ総分析
13	韓国の観光・観光プラン作成	13	SNS総分析
14	SNS上の流行とその変遷	14	総合ディスカッション①
15	韓国文化の特徴とは何か	15	総合ディスカッション②
16	発表資料/台本作成準備	16	発表資料/台本作成準備
17	期末試験(発表)	17	期末試験(発表)
18	フィードバック	18	フィードバック
19	予備日	19	予備日
20		20	

### 教員紹介

韓国・ソウル生まれの熊本育ち。日本人の父と韓国人の母をもち、日本語と韓国語のどちらもネイティブスピーカー。バイリンガルの視点から韓国語学習におけるポイントやつまづきやすい箇所をわかりやすく指導します。韓国語講師歴は9年目。現在、東京大学大学院博士後期課程にて在日コリアン青年のアイデンティティに関する研究活動に従事。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSコンテンツ制作概論	1年次	4	金守東	月・1限目
	通年			

## 概要

AIツールとSNSを活用し、コンテンツの企画・デザイン・動画制作からデータ分析まで、マーケティングの実務を体系的に学ぶ実践型の講義です。

## 到達目標

未経験から即戦力のマーケターへ。AIを駆使した制作スキルとデータ分析力を習得し、独自の実務ポートフォリオを完成させます。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(50%)、小テスト(10%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	SNSプラットフォーム別の特性把握とターゲットペルソナの設定	1	YouTubeロングフォームアルゴリズムの分析と視聴維持時間 (AVD) の理解
2	AIチャットボット (ChatGPT, Gemini) を活用したアイディーションと企画	2	クリックを呼ぶサムネイル (Thumbnail) デザインとコピーライティング
3	Claudeを活用したエモーショナルなコピーライティングとテキストの最適化	3	Eデュテインメント (Edu-tainment) のロングフォームスクリプト作成法
4	Project Week : 自身のブランドチャンネル企画書の完成 (総合実習)	4	Project Week : パイロット動画の制作とチャンネルSEOのセットアップ
5	視覚的階層構造 (Hierarchy) とCanvaレイアウトの基礎	5	テキスト基盤SNS (X, Facebook) のエコシステムとフックとなるコピーライティングの基礎
6	韓国/日本のデザイントレンド分析とMiriCanvasの活用法	6	Claudeを活用した感性/論理カスタマイズ型コピーライティングの高度化
7	ブランドキット (Brand Kit) の構築と一貫した視覚言語の設計	7	情報性長文コンテンツ (ブログ、ニュースレター) の企画とSEOの基礎
8	Project Week : チャンネルアイデンティティとビジュアルアセットパッケージの完成	8	Project Week : ワンソース・マルチユース (OSMU) テストキャンペーンの立ち上げ
9	AI画像生成の原理と画像プロンプトエンジニアリング	9	Meta (Instagram/Facebook) アルゴリズムとインサイト分析
10	ブランドキャラクターと一貫したビジュアルアセットの生成	10	YouTube Studioの深層データ分析とトラフィックソースの把握
11	AI画像レタッチと高解像度化 (Upscaling)	11	X (Twitter) データの抽出とExcelを活用したローデータ (Raw Data) の加工
12	Project Week : AI基盤の統合ブランドビジュアルパッケージの完成	12	Project Week : 月間成果レポートの作成とアクションプラン (Insight) の導出
13	ショートフォームコンテンツの文法の理解と企画案 (絵コンテ) の作成	13	パフォーマンスマーケティングの理解とMeta (Facebook/Instagram)
14	CapCutを活用したモバイル/PCのカット編集とテンポ調整	14	ターゲティングの高度化とデータトラック (Pixel) の理解
15	エフェクト、オーディオの活用およびプラットフォーム別のアルゴリズム最適化	15	A/Bテストの企画と重要業績評価指標 (CPA/ROAS) の分析
16	Project Week : 自身のブランドのショートフォームシリーズ3編の制作と配信	16	Project Week : B2B/B2Cカスタマイズ型のフルファンネル (Full-Funnel) キャンペーンの設定
17	Vrewの基礎とSTT基盤の自動字幕生成およびスタイリング	17	実務型ポートフォリオアークイブプラットフォームの構築 (Notion/GitHub)
18	TTS (Text-to-Speech) を活用したAI音声ダビングと多言語ローカライゼーション	18	実践問題解決プロジェクト (ミニハッカソン)
19	テキスト/台本に基づく完全自動動画生成 (Text-to-Videoの基礎)	19	AI模擬面接とポートフォリオプレゼンテーション (Pitching)
20	Project Week : 完全自動化「Faceless」チャンネルの立ち上げ実習	20	Project Week : 最終評価、ポートフォリオ提出、およびキャリアロードマップの構築

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
パイプコーディング実務	2年次	4	金 守東	月・2限目
	通年			

## 概要

生成AIを活用し、非情報系の留学生でもゼロから自力でフルスタックWebサービスを構築・運用できる実践的なコーディング手法を学ぶ。

## 到達目標

AIと協働してビジネス課題を解決するシステムを開発・公開し、日本IT企業での即戦力を証明するポートフォリオを完成させる。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	パイプコーディングパラダイムとCursor AIの環境セットアップ	1	パイプコーディングのためのPython基礎と業務自動化
2	Google AI Studio入門とプロンプトの基礎	2	AIと共に行うWebクロールとトレンドデータ収集
3	AIと共に行う最初のコード作成 (HTML/CSS)	3	Pandasを活用したAIデータ前処理と分析
4	Project Week : 自分だけのAIコーディングツールセット紹介ページの制作	4	Project Week : 自動化されたSNSマーケティングデータレポートジェネレーター
5	フレームワーク基盤の高速パブリッシング (Tailwind CSS & Cursor AI)	5	リレーショナルデータベース (RDBMS) の理解とAIスキーマ設計
6	AIを活用したJavaScript (JS) ロジック入門	6	パイプコーディングを活用した高度なSQLクエリ (CRUD & JOIN)
7	デザインシステムとAIアセットの生成 (Google AI Studio活用)	7	クラウドDB連携 (Supabase & API統合)
8	Project Week : レスポンシブなマルチページビジネスサイトの制作	8	Project Week : SNSマーケティング連携入学相談CRMダッシュボードの制作
9	複雑なデータ構造とAI基盤のロジック設計 (Array & Object)	9	システムプロンプトエンジニアリングとAIペルソナ制御
10	状態管理 (State) と動的UIの同期化	10	フューショットラーニング (Few-Shot Learning) とデータに基づくモデルチューニング
11	AI-Drivenデバッグと単体テスト (Unit Test)	11	独自データ連携の基礎 : RAG (検索拡張生成) コンセプトの体験
12	Project Week : データ駆動型インタラクティブ家計簿アプリの制作	12	Project Week : 企業向けナレッジベースAIヘルプデスクの制作
13	非同期プログラミングと「待機」の美学 (Async/Await)	13	AI基盤の実践トラブルシューティングと障害報告書 (RCA) の作成
14	外部API連携 : 世界のデータを自分のWebへ (Fetch API)	14	クリーンコード (Clean Code) とAI自動リファクタリング
15	Google Gemini API : 自分のサービスにAIの頭脳を組み込む	15	テスト自動化の導入 : バグを未然に防ぐ
16	Project Week : AIマルチアシスタントプラットフォームの制作	16	Project Week : レガシーコードの救出とCI/CDパイプラインの構築
17	サービス企画書の導出とAI基盤アーキテクチャ設計	17	最終ビジネスソリューションの企画とアーキテクチャの確定
18	フロントエンドおよびAIロジックの統合開発 (MVP実装)	18	パイプコーディング基盤のフルスタック開発とAIモデルの高度化連携
19	テスト、デバッグ、例外処理 (UX/UI改善)	19	最終QA、クラウドデプロイ、パフォーマンスの最適化
20	Project Week : 1学期サービスの最終デプロイと発表準備	20	ポートフォリオの完成とAI模擬技術面接 (最終評価)

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AI基盤コーディング自動化	1年次	4	金 守東	月・2限目
	通年			

## 概要

生成AIを活用し、非情報系の留学生でもゼロから自力でフルスタックWebサービスを構築・運用できる実践的なコーディング手法を学ぶ。

## 到達目標

AIと協働してビジネス課題を解決するシステムを開発・公開し、日本IT企業での即戦力を証明するポートフォリオを完成させる。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	パイプコーディングパラダイムとCursor AIの環境セットアップ	1	パイプコーディングのためのPython基礎と業務自動化
2	Google AI Studio入門とプロンプトの基礎	2	AIと共に行うWebクロールとトレンドデータ収集
3	AIと共に行う最初のコード作成 (HTML/CSS)	3	Pandasを活用したAIデータ前処理と分析
4	Project Week : 自分だけのAIコーディングツールセット紹介ページの制作	4	Project Week : 自動化されたSNSマーケティングデータレポートジェネレーター
5	フレームワーク基盤の高速パブリッシング (Tailwind CSS & Cursor AI)	5	リレーショナルデータベース (RDBMS) の理解とAIスキーマ設計
6	AIを活用したJavaScript (JS) ロジック入門	6	パイプコーディングを活用した高度なSQLクエリ (CRUD & JOIN)
7	デザインシステムとAIアセットの生成 (Google AI Studio活用)	7	クラウドDB連携 (Supabase & API統合)
8	Project Week : レスポンシブなマルチページビジネスサイトの制作	8	Project Week : SNSマーケティング連携入学相談CRMダッシュボードの制作
9	複雑なデータ構造とAI基盤のロジック設計 (Array & Object)	9	システムプロンプトエンジニアリングとAIペルソナ制御
10	状態管理 (State) と動的UIの同期化	10	フューショットラーニング (Few-Shot Learning) とデータに基づくモデルチューニング
11	AI-Drivenデバッグと単体テスト (Unit Test)	11	独自データ連携の基礎 : RAG (検索拡張生成) コンセプトの体験
12	Project Week : データ駆動型インタラクティブ家計簿アプリの制作	12	Project Week : 企業向けナレッジベースAIヘルプデスクの制作
13	非同期プログラミングと「待機」の美学 (Async/Await)	13	AI基盤の実践トラブルシューティングと障害報告書 (RCA) の作成
14	外部API連携 : 世界のデータを自分のWebへ (Fetch API)	14	クリーンコード (Clean Code) とAI自動リファクタリング
15	Google Gemini API : 自分のサービスにAIの頭脳を組み込む	15	テスト自動化の導入 : バグを未然に防ぐ
16	Project Week : AIマルチアシスタントプラットフォームの制作	16	Project Week : レガシーコードの救出とCI/CDパイプラインの構築
17	サービス企画書の導出とAI基盤アーキテクチャ設計	17	最終ビジネスソリューションの企画とアーキテクチャの確定
18	フロントエンドおよびAIロジックの統合開発 (MVP実装)	18	パイプコーディング基盤のフルスタック開発とAIモデルの高度化連携
19	テスト、デバッグ、例外処理 (UX/UI改善)	19	最終QA、クラウドデプロイ、パフォーマンスの最適化
20	Project Week : 1学期サービスの最終デプロイと発表準備	20	ポートフォリオの完成とAI模擬技術面接 (最終評価)

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
プロンプトエンジニアリング	1・2年生	4	金 守東	水・3限目
	通年			

## 概要

生成AIの基礎から業務自動化、独自AI構築まで、未経験からIT現場の即戦力となるプロンプト技術を40週で実践的に学びます。

## 到達目標

主要AIを自在に操り、企画・開発・データ分析を自動化するポートフォリオを完成させ、日本IT企業就職のための実践力を養います。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(10%)、課題(20%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	生成型AIの原理とプロンプトエンジニアリングの役割	1	議事録の要約とAction Itemの自動抽出
2	プロンプトの基本構造（指示、文脈、入力、出力）	2	コールドメールとビジネス提案書の草案作成
3	3大AI（Gemini、ChatGPT、Claude）の特徴と長所・短所の比較	3	WBS（作業分解構成図）とプロジェクト企画書の生成
4	Project Week：自分の業務を助けるAIアシスタントのプロトタイプ企画	4	Project Week：新規ITサービス提案書のフルパッケージ（企画～メーリング）の完成
5	ゼロショット（Zero-shot）& フューショット（Few-shot）プロンプティング	5	モデル別（Gemini、GPT、Claude）パラメータの理解と最適化
6	Chain of Thought（CoT）論理的思考誘導技法	6	マルチモーダル（画像、文書認識）プロンプトエンジニアリング
7	ハルシネーション（幻覚）の制御と条件付き出力技法	7	長い文書（Long-context）の処理と要約戦略
8	Project Week：複合的な実務問題解決のための多段階プロンプト設計	8	Project Week：複合データ（画像+PDF）に基づく総合市場調査レポートの作成
9	役割付与（Role-playing）技法の実務適用	9	プロンプトテンプレートの標準化とフレームワーク設計
10	ブランドガイドラインとトーン&マナー（Tone & Manner）の学習	10	反復業務自動化のためのプロンプトチェイニング（Chaining）
11	ターゲットオーディエンスに合わせたコミュニケーションプロンプト	11	ZapierなどのノーコードツールとAI連携の理解
12	Project Week：企業PR用マルチチャネルマーケティングのコピーライティングセット制作	12	Project Week：実務の反復プロセス（CS対応など）の自動化ワークフロー設計
13	Rawデータのクリーニングと要約プロンプト	13	RAG（検索拡張生成）の概念と実務的な意味
14	データに基づいたインサイトの導出とレポート作成	14	カスタムインストラクション（Custom Instructions）の高度化
15	コードインタプリタとAIを活用したデータ視覚化の基礎	15	独自データを活用したカスタマイズチャットボット/エージェントの作成
16	Project Week：仮想企業の売上データ分析と週間レポートの自動生成	16	Project Week：社内規定とマニュアルに基づく新入社員用AIヘルプデスクの構築
17	非専攻者のためのコード説明とコメント作成プロンプト	17	実務プロジェクトの企画とプロンプトアーキテクチャ設計
18	コードのデバッグとリファクタリングの要請技法	18	プロジェクトの実装とプロンプトチューニング（Troubleshooting）
19	企画者のためのHTML/CSS/JS Webプロトタイプ生成	19	成果物の導出とドキュメント化（GitHub、Notionなど）
20	Project Week：AIとペアプログラミングによる簡単なランディングページの構築	20	Project Week：最終卒業ポートフォリオの発表と講評

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
データベース基礎と情報保護	1・2年生	4	金 守東	木・1限目
	通年			

## 概要

RDBからNoSQL、セキュリティやBaaSまで、日本のIT企業が求める実践的なデータベース構築・運用スキルをゼロから体系的に学びます。

## 到達目標

未経験から安全かつ拡張性の高いハイブリッドDBシステムを自力で設計・構築し、即戦力となるバックエンドの専門性を確立します。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(40%)、出席(40%)、小テスト(10%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データベース概論とMySQL環境の構築	1	Firebase Security Rulesの基礎 (読み取り/書き込み権限の制御)
2	SQL基礎1 - データ定義言語(DDL)と操作言語(DML)	2	ユーザー認証 (Authentication) の連携と所有者の検証
3	SQL基礎2 - データ取得(SELECT)と基本関数	3	データ整合性の検証と複合ルール (Data Validation)
4	総合実習: 学生管理データベース構築ミニプロジェクト	4	総合実習: 安全なSNSフィードデータベース構築
5	ERDの基礎とテーブル間の関係 (Relationship)	5	Supabaseの環境設定とPostgresベースのBaaSの理解
6	データの正規化 (Normalization) - データの無駄を排除	6	Supabase Authentication (認証) の連携
7	JOIN - 分散したデータを一つにまとめる	7	Supabase Storageとデータベースの連携
8	総合実習: ショッピングモールデータベースモデリングプロジェクト	8	総合実習: 認証基盤の会員管理プロジェクト
9	PostgreSQLの導入とサブクエリ (Subquery) マスター	9	RLS (Row Level Security) の基礎とポリシー (Policy) 作成
10	インデックス (Index) とビュー (View) によるパフォーマンス最適化	10	データベースのトリガー (Trigger) と自動化
11	高度な集計とウィンドウ関数 (Window Function)	11	Edge FunctionsとWebhookを利用した外部API連携
12	総合実習: 大容量データ取得最適化プロジェクト	12	総合実習: セキュリティと自動化が結合された実務API構築
13	ユーザー権限 (Role) の制御とアクセス管理	13	RDBとNoSQLのハイブリッドアーキテクチャ設計 (Polyglot Persistence)
14	SQLインジェクション (Injection) の原理とセキュアコーディング	14	トランザクション (Transaction) とACID特性の完全な制御
15	データの暗号化と監査 (Audit) ログ	15	データバックアップ (Backup) とマイグレーション戦略
16	総合実習: 社内人事データセキュリティ管理プロジェクト	16	総合実習: 災害復旧 (DR) シナリオ実習
17	RDBとNoSQLの違いとFirebaseの導入	17	期末プロジェクトの要件分析と総合データベース設計
18	Firestoreデータモデリング (Collection & Document)	18	フロントエンドの連携とハイブリッドアーキテクチャの実装
19	Firestoreの基本CRUDとクエリ (Query) の活用	19	総合セキュリティ監査 (Security Audit) とパフォーマンスチューニング
20	総合実習: リアルタイムチャットDBモデリングプロジェクト	20	総合実習: 最終ポートフォリオの完成と日本IT企業模擬面接

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
Pythonプログラミング基礎	1・2年生	4	金 守東	木・2限目
	通年			

## 概要

AI(Cursor)とPythonを活用し、未経験の留学生でも40週間で実務直結の自動化ツールを構築できる実践講座です。

## 到達目標

Pythonの基礎からAPI・RPAまで習得し、実務現場に即投入可能な独自のAI活用ポートフォリオを完成させます。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	PythonとAI開発環境 (Cursor AI) の構築	1	データの永続的保存：テキストファイルの読み書き
2	データを入れる器：変数と基本データ型	2	構造化されたデータを扱う：CSVファイルの読み書き
3	データの加工：演算子と動的入出力	3	ファイルシステムの制御：ファイルとフォルダを思いのままに (os, pathlib)
4	総合実習 (Project Week)	4	総合実習 (Project Week)
5	プログラムの判断力：条件文 (if, elif, else)	5	現実世界をコードでモデリング：クラスとオブジェクトの誕生
6	反復業務の終結者：forループとリストの巡回	6	オブジェクトの初期化と状態管理：コンストラクタ (Constructor) とself
7	無限ループと条件反復：while文とデバッグの基礎	7	コードの進化と再利用：継承 (Inheritance) とポリモーフィズム (多態性)
8	総合実習 (Project Week)	8	総合実習 (Project Week)
9	データの羅列と加工：リスト (List) の深化とタプル (Tuple)	9	インターネットの向こうのデータ：HTTP通信の基礎とrequestsモジュール
10	キー (Key) と値 (Value) のペア：辞書 (Dictionary)	10	万国共通のデータ言語：JSON形式とハンドリング
11	重複の排除と集合演算：セット (Set) とデータ構造の変換	11	外部サービス連携：Open APIの活用と認証 (Auth)
12	総合実習 (Project Week)	12	総合実習 (Project Week)
13	コードの再利用：関数 (Function) の定義と呼び出し	13	Excelの単純作業の終焉：openpyxlの基礎
14	データの入出力：パラメータ (Parameter) と戻り値 (Return)	14	コミュニケーションの自動化：Pythonでメール (Email) を大量送信する
15	変数の寿命と範囲：スコープ (Scope) の理解	15	システムが自ら働くようにする：タスクスケジューリング (Task Scheduling)
16	総合実習 (Project Week)	16	総合実習 (Project Week)
17	絶対に死なないプログラム：例外処理 (try-except)	17	プロジェクトの始まり：アイデアの企画と要件定義 (PRD)
18	Pythonの基本武器庫：組み込みモジュール (Built-in Modules)	18	コアエンジンの制作：AIベアプログラミングとロジックの実装
19	無限の拡張：外部パッケージ管理 (pipとvenv)	19	欠陥のないソフトウェア：デバッグ、リファクタリング、および防御コードの構築
20	総合実習 (Project Week)	20	リリースと証明：ポートフォリオのドキュメント化 (README) と最終発表

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSマーケティング概論	1・2年生	4	金 守東	木・3限目
	通年			

## 概要

生成AIとSNSツールを駆使し、戦略立案からコンテンツ制作、データ分析までを包括的に習得する、就職直結型の実践的なマーケティング講座です

## 到達目標

AIを活用して各SNSに最適なコンテンツを制作し、データに基づいた広告運用や統合的なマーケティング戦略を自ら立案・実行できる能力を養います。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	SNSマーケティングの本質と顧客ペルソナの設定	1	YouTubeチャンネルの企画とアルゴリズムの理解
2	Canvaを活用したビジュアルストーリーテリング	2	Vrewを活用したAI基盤の効率的な動画編集
3	Google NanoBanana 2を活用したAIマーケティングアセットの生成	3	高クリックを誘導するサムネイルデザインとタイトルの公式
4	Project Week : ブランドビジュアルガイドラインの構築	4	Project Week : YouTubeチャンネルの立ち上げと運営レポート
5	人を動かすコピーライティングとマーケティングの文章術	5	Facebookビジネスページの構築と信頼マーケティング
6	日本市場必須、X (Twitter) のアルゴリズムと拡散戦略	6	ターゲットオーディエンスの設定と精巧な広告ターゲティングの基礎
7	コミュニティビルディングとXのプロフィール最適化	7	CS (カスタマーサービス) マニュアルとレビュー/コミュニティ管理
8	Project Week : X中心の統合テキストマーケティングキャンペーン	8	Project Week : コミュニティ運営と統合コミュニケーション戦略
9	Instagramのアルゴリズムとビジュアルブランディング戦略	9	パフォーマンスマーケティングの基礎と広告目標の設定
10	Instagramのストーリーとハイライトの活用 (CRM)	10	高効率な広告クリエイティブの制作とA/Bテスト
11	ハッシュタグ戦略とインフルエンサーコラボレーションの基礎	11	データ分析リテラシーとダッシュボード報告
12	Project Week : Instagramブランドアカウントの立ち上げ企画	12	Project Week : パフォーマンスマーケティングキャンペーンの最終結果報告
13	プロンプトエンジニアリングとAIビジュアル戦略	13	インフルエンサーマーケティングの構造と適切なパートナーの選定
14	AI基盤の一貫したブランドキャラクターとアセットの制作	14	コラボレーション提案書 (Casting) の作成と契約実務
15	AIデザインアセットの商業的利用と著作権	15	アフィリエイトマーケティング (Affiliate) とキャンペーンのROI測定
16	Project Week : AIブランディングキット (Branding Kit) の完成	16	Project Week : インフルエンサーコラボレーションキャンペーンの企画と模擬キャストイング
17	ショートフォームのアルゴリズムと「3秒ルール」の企画力	17	オムニチャネル (Omni-Channel) 統合マーケティング戦略 (IMC)
18	CapCutの高度な編集技術と視覚効果 (VFX)	18	就職成功のための実務型ポートフォリオの構造化
19	ショートフォームチャレンジとトレンドマーケティングの運営戦略	19	日本のIT/マーケティング業界のトレンド分析と面接戦略
20	Project Week : ショートフォームシリーズの企画と制作	20	Project Week : 最終統合キャンペーンの発表と修了展示

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
コンピューターリテラシー	1年次	4	金守東	木・4限目
	通年			

## 概要

Windows 11とOffice 365を活用し、実務データ分析や論理的な文書作成能力を体系的に習得する実践的な統合講座です

## 到達目標

現場で即戦力となる文書自動化・可視化スキルを身につけ、高度なビジネスポートフォリオを自ら完成させることができます。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(40%)、出席(40%)、小テスト(20%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	スマートな業務環境の設定とOSの理解	1	ピボットテーブル (Pivot Table) を利用したデータの要約
2	体系的なファイルシステムとクラウド管理	2	ビジネスチャートとデータ可視化技術
3	ITセキュリティの基礎とソフトウェアのインストール/管理	3	ダッシュボード (Dashboard) の企画とスライサーの連携
4	Project Week - ビジネスワークステーション構築プロジェクト	4	Project Week - 経営実績分析のインタラクティブレポート
5	ビジネス文書の構造とテキスト編集の基礎	5	スライドの企画と原稿の書き方 (Storyboarding)
6	表 (Table) と画像の活用による情報の可視化	6	マスタースライドと一貫したレイアウト設計
7	文書テンプレートの制作とテーマの活用	7	テキストの可視化とSmartArtの活用技術
8	Project Week - ビジネス文書パッケージの完成	8	Project Week - 学科広報および入学案内プレゼンテーションの企画
9	長文文書の構造化と自動目次生成	9	ビジネスインフォグラフィック (Infographic) の制作原理
10	注釈、相互参照、およびキャプションの管理	10	マルチメディアの活用と動的アニメーション戦略
11	変更履歴の記録と共同編集 (コラボレーション)	11	データに基づく可視化 (Excel連携とマップチャート)
12	Project Week - 専門技術白書 (White Paper) の制作	12	Project Week - 高品質な提案書と技術パンフレットの完成
13	Excelの構造とデータ入力の定石	13	データフロー設計とOLE連携システム
14	数式の基礎と参照 (Relative vs Absolute)	14	Word基盤の詳細事業提案書 (Technical Proposal) の作成
15	必須の基礎関数 (SUM, AVERAGE, COUNT, MAX/MIN)	15	PPT基盤の結論中心の発表資料 (Executive Summary) の制作
16	Project Week - 個人および部署の予算管理システムの構築	16	Project Week - 統合ビジネス提案パッケージ (Final Delivery)
17	条件文 (IF) と複数条件の論理構造	17	パーソナルブランディングとポートフォリオアーキテクチャ設計
18	データ連携の核心、VLOOKUPとXLOOKUP	18	ビジュアルレポートと動画ポートフォリオの制作
19	データの並べ替え、フィルター、およびテキストの加工	19	模擬面接とデジタルリテラシーの最終検証
20	Project Week - 会員管理と未納金の自動通知システム	20	Project Week - 卒業ポートフォリオ展示会とマスター認証

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
IT専攻韓国語	1・2年生	4	金 守東	金・1限目
	通年			

## 概要

IT専門用語と実践的な開発プロセスを韓国語で習得。設計から開発、就職対策まで網羅した実戦型カリキュラム。

## 到達目標

韓国語での円滑なIT実務コミュニケーションが可能になり、AIを駆使してフルスタック開発と専門的な技術文書作成ができる能力を養う。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(50%)、出席(30%)、小テスト(20%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	IT韓国語の基礎：漢字語/外来語の区別とAIチャットの開始	1	サーバーサイドランタイム (Node.js) とイベントループの理解
2	AIプロンプトエンジニアリング：ペルソナ設定と状況別の韓国語	2	REST API設計の原則とHTTPメソッドの活用
3	コード文法の韓国語読解とコメント (Comment) の作成法	3	バックエンドフレームワーク (Express) とミドルウェア (Middleware)
4	総合実習：AI基盤のIT用語辞典およびWikiの構築	4	総合実習：掲示板CRUDバックエンドシステムの完成
5	開発方法論の理解：アジャイル (Agile) とスクラム (Scrum) の韓国語	5	Webセキュリティの基礎：OWASP Top 10と安全な認証 (JWT)
6	要件定義書 (SRD) の分析と韓国語機能仕様書の作成	6	ユニットテスト (Unit Test) とテストフレームワーク (Jest)
7	WBS (作業分解構成図) の作成とスケジュール見積りのコミュニケーション	7	静的解析とリントング (ESLint/Prettier) とコードレビュー文化
8	総合実習：プロジェクト企画案および要件定義の完成	8	総合実習：セキュリティ脆弱性の点検とテストレポートの作成
9	サーバーとクラウドの基礎：AWS/Azureの用語と環境設定	9	読みやすい技術ブログとREADME.mdの作成法
10	ネットワークセキュリティとプロトコル：HTTP/HTTPSとドメイン設定	10	コラボレーションのためのSlackとメールコミュニケーション
11	Linuxコマンドとシェルスクリプトの活用の基礎	11	技術デモとプレゼンテーション (PT) スキル
12	総合実習：インフラアーキテクチャの設計と構築報告書	12	総合実習：最終プロジェクトの企画と提案書の発表
13	リレーショナルデータベース (RDBMS) の基礎と設計 (ERD)	13	データ分析の基礎：Pythonとライブラリ (Pandas)
14	SQLの基本：データ取得 (SELECT) と条件句の活用	14	機械学習 (ML) の概念と教師あり学習 (Classification)
15	SQLの深化：結合 (JOIN) とサブクエリ、そしてパフォーマンス最適化	15	ディープラーニングと大規模言語モデル (LLM) の理解：プロンプトの高度化
16	総合実習：データモデリングおよび管理ツールの構築	16	総合実習：AIデータダッシュボードの企画と実装
17	UI/UX基礎理論と韓国語デザインガイドライン	17	最終プロジェクト (Capstone) の実装と高度化
18	マークアップ言語 (HTML/CSS) とセマンティックWebの理解	18	クラウドデプロイ (Deployment) とドメインの接続
19	モダンフロントエンドフレームワーク (React/Vue) の基礎	19	AI基盤の自己紹介書と技術面接の準備
20	総合実習：レスポンスWebポートフォリオのメイン画面の実装	20	総合実習：最終ポートフォリオの発表と模擬面接 (Final)

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSコンテンツ制作の自動化	1年次	4	金守東	金・2限目
	通年			

## 概要

最新のAI技術を活用し、SNS戦略の立案から画像・動画の自動生成、データ分析、運用自動化までを網羅的に習得する、超実践型のコンテンツ制作講座です。

## 到達目標

AIツールを自在に操り、独創的なコンテンツを効率的に量産できる「AIディレクター」として、企業の即戦力となる実務能力と実績を確立します。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	プロンプトエンジニアリング：AIと対話する方法	1	プラットフォーム別のUI/UX分析とリパーバシング (Repurposing)
2	ターゲットペルソナおよびコンテンツ戦略の策定	2	AIコピーライティングとSEOハッシュタグ戦略
3	テキストの視覚化：コピーライティングとレイアウト企画	3	サムネイルの自動制作とA/Bテスト企画
4	Project Week：AI基盤のブランド立ち上げ企画	4	Project Week：多言語グローバル配信システムの構築
5	Canva & MiriCanvas AI：マジックスタジオの活用法	5	SNSインサイトデータの理解と抽出
6	データに基づくデザインの大量生成 (Bulk Create)	6	Geminiを活用したAIデータ分析と視覚化
7	ブランドアイデンティティの自動適用と一貫性の維持	7	視聴者のフィードバック (コメント) の感情分析と反映
8	Project Week：マルチチャネルデザインセットの完成	8	Project Week：週間成果分析ダッシュボードの制作
9	Google Nano Banana 2：テキスト・トゥ・イメージ (T2I) マスター	9	ノーコード自動化の理解とZapier/Make入門
10	画像編集とスタイルトランスファー (Image-to-Image)	10	AIニュース自動キュレーションシステムの構築
11	AIキャラクターと一貫したブランドアセットの生成	11	SNSの自動予約投稿とマルチチャネル配信
12	Project Week：AIビジュアル広告キャンペーンの完成	12	Project Week：「無人」SNSチャンネル運営テスト
13	AIによる草案作成：テキストで動画を作る (Text-to-Video)	13	コンテンツ収益化戦略とビジネスモデル (BM) 設計
14	スマート字幕とスタイリングの自動化	14	Meta (Instagram/Facebook) AI広告マネージャー実務
15	オーディオリマスタリングとAI背景音楽 (BGM) の最適化	15	ランディングページの制作とAIコピーライティングの最適化
16	Project Week：ニュースキュレーションチャンネルの構築	16	Project Week：マーケティングキャンペーン総合レポート
17	CapCut PC：AIスマートカットとモーショングラフィックス	17	パーソナルブランディングとポートフォリオ戦略の策定
18	AI音声の複製とサウンドデザインの最適化	18	プロジェクトのケーススタディ (Case Study) の深化作成
19	AIスタイル変更とフィルターの自動化 (Video-to-Video)	19	動画ポートフォリオ (Showreel) の制作と最終検収
20	Project Week：高没入型ショートフォーム広告の完成	20	Project Week：最終発表と未来へのロードマップ設計

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AIデータ分析概論	1年次	4	金守東	金・3限目
	通年			

## 概要

Pythonとライブラリを駆使し、データ収集・分析からAIモデル構築までの実務プロセスを体系的に学ぶカリキュラムです。

## 到達目標

データ前処理・統計・機械学習のスキルを習得し、ビジネス課題の解決や独自の分析ポートフォリオを作成できるようになります。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データ分析の世界と開発環境の構築	1	Matplotlibの基礎と基本チャートの描画
2	データハンドリングのためのPython基礎 (変数、データ構造)	2	Seabornを活用した高度な統計視覚化
3	制御文と関数：分析パイプラインの自動化	3	インサイト伝達のための視覚化戦略 (UI/UX)
4	Project Week：初めてのデータパイプライン設計	4	Project Week：データストーリーテリングとダッシュボード企画
5	NumPyの理解と多次元配列(ndArray)の生成	5	確率分布と標本抽出 (Sampling)
6	配列のインデックス参照、スライシング、次元変更	6	仮説検定 (Hypothesis Testing) とP-value
7	ベクトル化演算とブロードキャスト (Broadcasting)	7	相関関係と因果関係 (Correlation vs Causality)
8	Project Week：NumPy基盤の簡単な線形回帰の実装	8	Project Week：ビジネスA/Bテストの設計と分析
9	Pandasの構造：SeriesとDataFrameの理解	9	機械学習の概念と教師あり学習 (Supervised Learning)
10	外部データのロードとインデックス参照/スライシング	10	単回帰および重回帰分析 (Linear Regression)
11	データの並べ替えと基本演算 (静的分析の基礎)	11	モデル評価指標と過学習 (Overfitting)
12	Project Week：公共データを活用した地域別トレンド分析	12	Project Week：時系列データを活用した需要予測モデル
13	欠損値の処理とデータクリーニング (Data Cleaning)	13	ロジスティック回帰と二値分類 (Binary Classification)
14	データの結合とマージ (Merge & Concatenate)	14	決定木 (Decision Tree) とアンサンブルの基礎
15	グループ化分析 (GroupBy) とピボットテーブル	15	テキストデータの前処理と形態素解析
16	Project Week：顧客セグメント分析とレポート	16	Project Week：感情分析 (Sentiment Analysis) モデル
17	データのスケールと正規化 (Scaling & Normalization)	17	プロジェクト企画とデータ収集 (Scraping & API)
18	カテゴリデータのエンコーディング (Encoding)	18	統合前処理パイプラインとEDAの深化
19	異常値の検出と派生変数の生成	19	ハイパーパラメータのチューニングとモデルの最適化
20	Project Week：探索的データ分析(EDA)レポートの完成	20	最終発表とGitHubポートフォリオのデプロイ

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

# 2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AIデータ分析応用	2年次	4	金 守東	金・3限目
	通年			

## 概要

Pythonとライブラリを駆使し、データ収集・分析からAIモデル構築までの実務プロセスを体系的に学ぶカリキュラムです。

## 到達目標

データ前処理・統計・機械学習のスキルを習得し、ビジネス課題の解決や独自の分析ポートフォリオを作成できるようになります。

## 受講要件

なし

## 評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

## テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

## 参考書

無し

## 授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データ分析の世界と開発環境の構築	1	Matplotlibの基礎と基本チャートの描画
2	データハンドリングのためのPython基礎 (変数、データ構造)	2	Seabornを活用した高度な統計視覚化
3	制御文と関数：分析パイプラインの自動化	3	インサイト伝達のための視覚化戦略 (UI/UX)
4	Project Week：初めてのデータパイプライン設計	4	Project Week：データストーリーテリングとダッシュボード企画
5	NumPyの理解と多次元配列(ndArray)の生成	5	確率分布と標本抽出 (Sampling)
6	配列のインデックス参照、スライシング、次元変更	6	仮説検定 (Hypothesis Testing) とP-value
7	ベクトル化演算とブロードキャスト (Broadcasting)	7	相関関係と因果関係 (Correlation vs Causality)
8	Project Week：NumPy基盤の簡単な線形回帰の実装	8	Project Week：ビジネスA/Bテストの設計と分析
9	Pandasの構造：SeriesとDataFrameの理解	9	機械学習の概念と教師あり学習 (Supervised Learning)
10	外部データのロードとインデックス参照/スライシング	10	単回帰および重回帰分析 (Linear Regression)
11	データの並べ替えと基本演算 (静的分析の基礎)	11	モデル評価指標と過学習 (Overfitting)
12	Project Week：公共データを活用した地域別トレンド分析	12	Project Week：時系列データを活用した需要予測モデル
13	欠損値の処理とデータクリーニング (Data Cleaning)	13	ロジスティック回帰と二値分類 (Binary Classification)
14	データの結合とマージ (Merge & Concatenate)	14	決定木 (Decision Tree) とアンサンブルの基礎
15	グループ化分析 (GroupBy) とピボットテーブル	15	テキストデータの前処理と形態素解析
16	Project Week：顧客セグメント分析とレポート	16	Project Week：感情分析 (Sentiment Analysis) モデル
17	データのスケールと正規化 (Scaling & Normalization)	17	プロジェクト企画とデータ収集 (Scraping & API)
18	カテゴリデータのエンコーディング (Encoding)	18	統合前処理パイプラインとEDAの深化
19	異常値の検出と派生変数の生成	19	ハイパーパラメータのチューニングとモデルの最適化
20	Project Week：探索的データ分析(EDA)レポートの完成	20	最終発表とGitHubポートフォリオのデプロイ

## 教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。